

2015年5月14日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第25号

フラメンゴ埋立地周辺の治安悪化が深刻化

12日付、当地紙オ・グローボは、総領事館に隣接するフラメンゴ埋立地周辺の治安が4月以降、急激に悪化している旨報じています。

また、記事では、最近強盗事件が多発している12カ所を紹介（軍警察発表）していません（別添地図参照）。

1 報道概要

- (1) 5月8日（金）、9日（土）の2日間、リオ州軍警察とリオ市警察が合同でフラメンゴ埋立地（総領事館に隣接）における特別作戦を実施し、不審者38名を逮捕した。不審者らは第10文民警察署に連行されたが、1名のみが勾留となり、その他は釈放された。
- (2) 近辺で多発している強盗の多くが同埋立地を活動の拠点としており、同地で盗品を分配したり麻薬の売買を行ったりしている。さらには多くの（善良な）浮浪者も混在していることから取締りが困難な状況にある。
- (3) 第二州軍警察本部のM a r i o司令官は、同地域のホームレスの中に犯罪者が混在していると断言し、4月中に同地域で特に通行人に対する強盗事件が急増しており、その多くに同地域のホームレスが関与している事実を認めた上で、犯人を逮捕、勾留するためには現行犯で捕まえるしかなく、検挙が困難な状況であると述べた。その上で、同埋立地周辺で現在、強盗事件が多く発生している場所12カ所を挙げた（別添地図参照）。
- (4) 同埋立地周辺では、（強盗が多発している現状を）訴えるため、住民が中心となり、18日（月）18：30からラルゴドマシャード駅において抗議デモを予定しており、SNSを通じて現在約2000名が参加を表明している。

2 当館から

- (1) 4月以降、当館周辺において、拳銃又はナイフを使用した強盗事件が連続発生しており、邦人の強盗被害も2件確認されています。
- (2) 当館周辺を管轄する第二軍警察本部は、13日、フラメンゴ、ポタフォゴ、ラランジェイラス及びカテチ地区に、地域密着型の警察出張所（通称・アスファルトのUPP（平和構築部隊））を設置する旨発表しています（具体的な設置時期などは不明）。同部隊では、パトロール中に名刺を配布する等より住民に密着した警察活動を行う予定で、既に同第二軍警に対するに警察官の増員が決定しています。